

## 五島育英会 東急自動車学校が竣工 地域に根付く施設目指す

完成した東急自動車学校



五島育英会が東京都多摩市に建設した「東急自動車学校」の竣工式が11



白石校長

月30日に現地で行われ、関係者約60人が出席して完成を祝った。設計・監理を東急設計コンサルタン



下永田社長

ト（一部監理を五島育英会）、施工を東急建設がそれぞれ担当した。10日に開業する予定。



市川社長

建設地は同市唐木田3の6（3万5476平方メートル）。土地は都市再生機構が所有。五島育英会は08年4月から20年間の事業用借地権契約を結ん

だ。中央に建物、北東に4輪車用教習コース、南西に2輪車用教習コースを整備した。建物はS造地下1階地上3階建て延べ約4855平方メートルの規模で、地下に駐輪場（32台分）と検定待合室、地上1階にエントランスロビーと駐車場（33台分）、2階に受付ラウンジや事務室など、3階に教室やシミュレーター室などを配置した。総事業費は約29億円。同自動車学校は現在、東京都世田谷区にあるが、同区の都市計画事業実施に伴う要請を受けて移転することになった。

「周辺に大学の施設や企業の研修所があることや、緑の多い住宅地であることなどを考慮し、外観は都会的でおしゃれに、内部空間は時間を有効に楽しく過ごせる場として設計した」と話した。市川正美東急建設社長は「4輪車と2輪車のコースを別々に有する自動車学校としては都内で最大級の施設。建物は、空間にゆとりと開放感を持っており、素晴らしい施設にすることができた」と述べた。

無断転載禁止 ・ 著作権は日刊建設工業新聞社に帰属します  
転載承認済み